

事業番号	027
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	庁舎施設整備事業						担当部	総務部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	総務課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	7 自治体経営		32 財政運営		3 健全で計画的な財政運営を推進します				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	1	目	1	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市庁舎を利用する市民(来庁者)及び庁舎内で業務を行う者(職員等)が庁舎を利用しやすいよう庁舎施設を整備し、市庁舎の利便性の向上を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容 旧本庁舎解体等工事にかかる設計委託及び地質調査委託を行った。 庁舎の整備に関して、修繕では対応できない比較的大きな整備工事等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧本庁舎窓ガラス養生工事</li> <li>・市民駐車場サイン標示等設置工事</li> <li>・本庁舎地下1階階段室改修工事</li> </ul> <p>◆平成25年度直接経費の内訳 設計監理委託料(8,400千円) 地質調査委託(4,200千円) 庁舎維持補修工事費(6,079千円)</p> <p>◆平成26年度直接経費の内訳 手数料(41千円) 設計監理委託料 (庁舎維持補修工事設計監理委託料、旧庁舎解体等工事監理委託料)(17,250千円) 庁舎維持補修工事費(93,200千円) 旧本庁舎解体工事費(210,000千円)</p>									
	受益者負担	無			庁舎建設基金12,600千円						

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,045	105,950	18,679	320,491	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.30
			人件費	千円	526	526	526	1,578
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	3,571	106,476	19,205	322,069		
対前年比	%			2,981.6	18.0	1,677.0		
財源	一般財源	千円	3,571	106,476	6,605	105,286		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	12,600	216,783		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	庁舎施設整備数	件	目標	—	1	2	8
			実績	1	1	3	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
庁舎施設整備数	件	目標	—	1	2	8	
		実績	1	1	3		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		旧本庁舎の維持管理並びに本庁舎及び市民駐車場の運営に必要な整備を適切に行うことができた。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		庁内における整備の場合は、業務に支障にならないよう連絡調整と周知を徹底し、敷地にかかる整備の場合には影響が想定される近隣住民などへの調整が必要となる。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		庁舎の利便の低下を招き、市民サービスが低下する。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	旧本庁舎の解体工事を行うにあたり、安全な工事施工は当然のこと、地元区、近隣住民への適切な対応に努める。また、解体後の跡地を以後の小牧山整備事業へ円滑に引き渡せるよう関係課との調整を行う。庁舎維持補修工事に関しては、市民サービスや庁舎の安全管理に直結するため、早期に設計業務に着手し、円滑に工事施工につなげていく。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	庁舎維持の観点から今後も補修工事は必要であることから現状維持と判定した。		
	27年度以降の改善案	旧本庁舎の跡地を小牧山整備事業に円滑に引き渡し、小牧市として適切な管理を行うよう調整を行う。庁舎及び庁舎敷地については、市民がさらに利用しやすく、また職員の働く環境がより快適になるような意見を取り入れ施設の整備計画を検討する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。